

電気式アンローダ化

1. まえがき

機械式アンローダパイロットバルブは、圧油タンクから直接油圧を引きスプリングとのバランスによってアンロード及びオンロードに切替ります。

長年使用されていると、スプリングがへたったり、機械的こじれ等により圧力幅・圧力レンジに変動が生じます。

それに加え、年々電気式アンローダに移行している為、機械式アンローダパイロットバルブをS63以降製造しておりません。

アンローダ本体はあまり古くなくトラブルがない場合はそのまま既設流用が可能です。

以上により、動作幅・動作レンジに安定性があり耐久性の優れた電気式アンローダ化を推奨致します。

2. 特長

- ① 圧力調整は圧力リレーにて圧力幅・圧力レンジとも個々に簡単に調整できます。
- ② 圧力リレーは耐久性:1000万回以上ものを使用しています。
- ③ 圧力リレーはオンロード時:ランプON、アンロード時:ランプOFFしますので外部より容易に動作確認できます。
- ④ アンローダ用電磁弁にマニホールドを装着することにより、銅配管を減らすことが出来、シンプルになります。
- ⑤ 電源喪失時、電磁弁は電源OFFになり「オンロード」状態を保ちます。

3. 構成品

- | | | |
|----------------------|-------------|-----------------------|
| ① アンローダ用電磁弁 | 1台 | |
| ② 同上用マニホールド | 1式 | |
| ③ 圧力リレー | 1個 | |
| ④ 同上用取付盤・配管部品 | 1式 | |
| ⑤ 単式ストレーナ(200メッシュ相当) | 1台 (オプション品) | (注記)ゴミの混入防止に取付を推奨します。 |

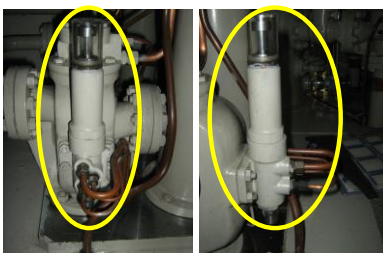
4. 動作説明 (弊社アンローダ本体: 両圧式で説明します。)

アンローダ下室には常時油圧が掛かっています。

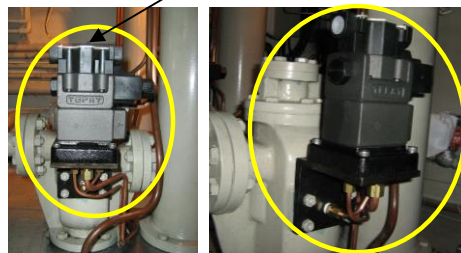
圧油タンク油圧を圧力リレー(最低常用油圧時:OFF、最高常用油圧時:ON)にて検出し、オンロード・アンロードの指令をアンローダ用電磁弁に送ります。

- a) オンロード時 アンローダ用電磁弁は圧力リレーより指令を受け、圧油はPポートよりAポートを通り、アンローダ上室に入りフローチングを押し下げ「オンロード」となります。
- b) アンロード時 アンローダ用電磁弁は圧力リレーより指令を受け、圧油はPポートよりBポートで盲となっていますのでフローチングは押し上げられたままで「アンロード」となります。
- c) 電源喪失時 アンローダ用電磁弁は電源:OFFとなり、「オンロード」状態を保ちます。

既設アンローダ用パイロット弁



電磁弁+マニホールド



圧力リレー



※他社メーカーのアンローダも「電気式アンローダ化」が可能です。
 詳細(図面・改造実績)につきましては、お気軽にお問い合わせ下さい。